

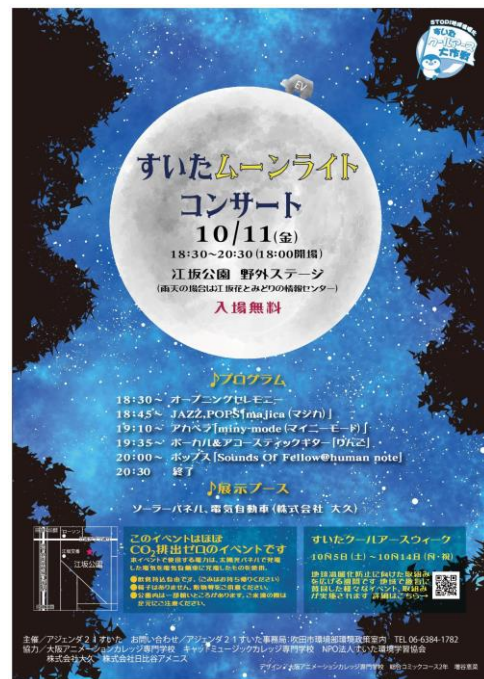
令和元年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告

1 フラッグシッププロジェクトの推進

1 事業内容

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

フラッグシッププロジェクトとして4年目になりました。今年度は地球温暖化防止も目標の一つとなっているSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の認知度アップと、一人ひとりができることから実践していただくことを目標に活動しました。



1-1 すいたクールアースウィーク

市内公共施設、企業、各種団体の皆様に「地球温暖化防止に向けた取り組みの全市的な促進」を目的に、10月5日(土)～14日(月・祝)の間、省エネ活動、地球温暖化に関する啓発展示などに取り組みました。具体的な取り組みは以下の通りです。

<取組1> 神崎川河畔プラごみゼロアクション～海洋プラスチックごみを減らそう～(共催：NPO 法人すいた市民環境会議、アジェンダ21すいた)

開催日：10月5日(土) 9:30～11:30

場所：江坂公園から神崎川河畔方面に続く 1.4Km

歩きながらごみ拾いをしました。ごみの総量 34.8Kg トレイやペットボトル、傘やゴルフクラブなどの大きなものも捨てられており、一番多かったのは、たばこのフィルターでした。

<取組2> 「月」をテーマにした絵本の読み聞かせと関連図書展示(市立図書館)

開催日：10月5日(土)～14日(月・祝)

場所：市立図書館7館2分室

「月」をテーマとした絵本の読み聞かせと「環境」「月」「地球温暖化」をテーマとした書籍を、特設コーナーに展示していただきました。

<取組3> 絵本の読み聞かせ(大和大学学園祭実行委員会)

開催日：10月12日(土)・13日(日)10:30～、15:30～ 各日2回

場所：大和大学

大和大学の学園祭～和纏祭～の子ども向けイベント子ども向けイベント「みんなであそぼ!わくわくきょうしつにおいて、「月」に関連した絵本の読み聞かせをしていただきました。

<取組4> 「プロギング in 吹田キャン!」(大阪大学環境サークル GECS)

開催日：10月13日(日)

北千里駅から大阪大学吹田キャンパスにかけてプロギングを行っていただきました。

5人1時間ほどで燃えるごみ700g、燃えないごみ900g、たばこの吸い殻50本ほど拾われたとのこと。

※プロギングとは、ごみ拾いをしながらジョギングをするという、北欧発祥のアクティビティです。

<取組5> 関西大学総合図書館でSDGs推進図書展示(関西大学総合図書館)

開催日：9月28日(土)～10月17日(木)

関西大学総合図書館において、KANDA I for SDGs推進プロジェクトによる教員推進図書を中心に、17の目標を達成するためのヒントとなる本を5期に分けて展示されました。吹田市長の推薦図書も展示していただきました。第1期では、すいたクールアースウィークに賛同したコラボレーション展示を行い、17の目標のどの分野に興味があるかのアンケート調査も行われました。



<取組6>「月の観察会」(わくわくの郷・吹田市自然体験交流センター)・・・中止
開催予定日：10月14日(月・祝)

天体望遠鏡でお月様を観察する、月の観察会を実施予定でしたが、天気が悪く残念ながら中止になりました。

<取組7>ディライト イン ザ ナイト(スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社)
開催日：10月11日(金)～10月14日(月・祝) 夕方以降

店内の照明を部分的に消灯(de-light)し、いつもと違うディライト(delight、楽しい)な空間でゆったりとした時間を過ごしていただくプログラムを行っていただきました。

<取組8>吹田市職員によるエコ宣言

吹田市の後藤市長、副市長をはじめとして、職員からすいたクールアースウィーク期間中に取り組む内容を掲げ、エコ宣言をしていただきました。市ホームページにもアップしています。

わたしたち エコ宣言してます 取り組みます!



10月5日(土)～10月14日(月・祝)は「すいたクールアースウィーク」

～みなさんも できるエコから ひとつずつ～

わたしたち エコ宣言してます 取り組みます!



10月5日(土)～10月14日(月・祝)は「すいたクールアースウィーク」

～みなさんも できるエコから ひとつずつ～

この他にも、以下の通り、吹田市内の企業・大学・団体・公共施設が参加しました。
アサヒビール株式会社吹田工場、阿部住宅設備機器株式会社、大阪アニメーションカレッジ専門学校、大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部、大阪ガス株式会社、国立大学法人大阪大学、関西大学、株式会社ガンバ大阪、キャットミュージックカレッジ専門学校、NPO 法人ここ、吹田市情報発信プラザ (Inforest すいた)、NPO 法人 すいた環境学習協会、吹田商工会議所、公益財団法人吹田市文化振興事業団、NPO 法人吹田歴史文化まちづくり協会、スパゲッテリア マッキー、千里金蘭大学、公益財団法人千里リサイクルプラザ、株式会社大久、株式会社ダスキン、吹田市立男女共同参画センター、吹田市立博物館、株式会社日比谷アメニス、三井不動産株式会社、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいぴあ)、リコージャパン株式会社 ※五十音順

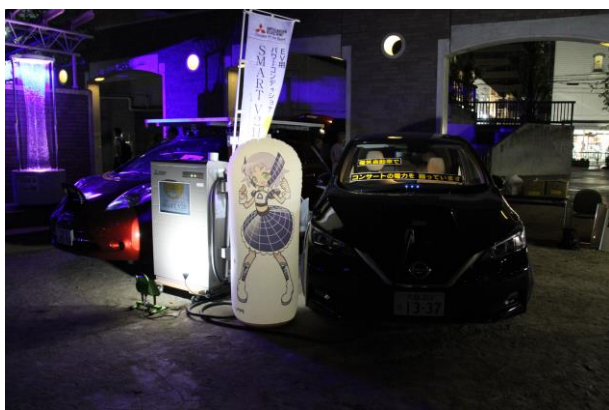
1-2 すいたムーンライトコンサート

すいたクールアースウィークのメインイベントとして、10月11日（金）18時30分～20時30分まで、江坂公園 野外ステージにて「すいたムーンライトコンサート」を開催しました。

市長、市議会議長にご挨拶をいただき、その後、チラシ・ポスターデザインをしていただきました増谷さん(大阪アニメーションカレッジ専門学校)の表彰を行いました。

コンサートは、コーラスやアカペラ等のグループに合計4組出演していただきました。途中小雨が降り、コンサートが屋外であったため続行が危ぶまれる場面もありましたが、無事最後まで終わることができました。

ステージの音響・照明は、キャットミュージックカレッジ専門学校のご協力で学生さんたちが担当してくださいました。また、このイベントは株式会社大久のご協力のもと太陽光パネルで発電し電気自動車に充電した電力を使用し、地球温暖化の原因となるCO2 排出量ほぼゼロとなるイベントとなっています。参加者は延べ約500人でした。



1-3 市役所本庁舎ロビー展示

開催日：6月17日（月）～21日（金）

アジェンダ21 すいた単体でのロビー展示は初めての取り組みでした。株式会社ガンバ大阪のご協力により、宮本監督がSDGsのボールを持っているパネルや選手がエコ宣言をしているパネルの展示やSDGs、海洋プラスチック、食品ロス削減のポスター展示をしました。市役所来庁者への良いアピール機会になりました。



1-4 環境をテーマにした書籍展示（市立図書館とのコラボ）

開催日：6月

環境月間である6月に、環境をテーマにした書籍を7館2分室とも特設コーナーなどに展示していただきました。暮らしに密着した書籍から、社会学、経済学といった専門図書まで幅広く環境がかかわっていることがよくわかりました。

1-5 サッカースタジアム・ブース出展

開催日：6月22日（土）

Panasonic Stadium Suitaにて開催されたガンバ大阪VS湘南ベルマーレ戦の試合開始前までの間、SENS（Suita Environmental Network of Students）の協力を得て、大阪大学環境サークルGECS、大和大学の学生の方、関西大学良永ゼミとの共同ブースを出展し、SDGsのアンケート調査を実施しました。また、ハーフタイムにはすいたんやSENSの学生さんたちとともに食品ロス削減、地球温暖化防止の標語を書いたパネルをもってピッチ内を周回しました。

集計結果：1位は3番「すべての人に健康と福祉を」、2位は1番「貧困をなくそう」、3位は14番の「海の豊かさを守ろう」でした。



1-6 吹田スタジアムフェスタ2019

開催日：8月31日（土）

SDGsの17の目標の中で一番興味がある番号にシールを貼っていただくアンケート調査を行いました。

集計結果：1位は3番の「すべての人に健康と福祉を」2位は16番の「平和と公正をすべての人に」3位は4番の「質の高い教育をみんなに」でした。

1-7 すいた環境教育フェスタ2020

開催日：2月1日（土）

くるくるプラザで開催されたフェスタではSDGs関係のポスターを展示し、SDGsの認知度、関心度を調べるアンケートを実施しました。17の目標ごとに作成したシートのうち一番関心のあるところにシールを貼っていただきました。

集計結果：1位は14番「海の豊かさを守ろう」、2位は7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、3位が同率で2番の「飢餓をゼロに」と11番の「住み続けられるまちづくりを」でした。

1-8 くるくるアースフェスタ2020

開催日：2月16日（日）

EXPOCITY 光の広場の会場においてSDGsのポスターを展示し、SDGsの認知度や関心度を調べるアンケートを実施しました。アンケート回答者にガンバ大阪ご協力の選手のポスターやカード（どちらもサイン入り）の当たる抽選受付を実施しました。後日、厳正なる抽選をし、当選者には市役所まで受け取りに来ていただきました。

集計結果：1位は同率で1番の「貧困をなくそう」と4番の「質の高い教育をみんなに」、2位も同率で2番の「飢餓をゼロに」と7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と16番の「平和と公正をすべての人に」でした。



参加者：約 3,500 名

（『令和元年度（2019年度）公益財団法人 千里リサイクルプラザ 事業報告書』より）

（2）食品ロス削減プロジェクト

2-1 すいた食べきり運動啓発キャンペーン

令和元年12月から昨年のJR吹田駅周辺と大阪メトロ江坂駅周辺のお店から範囲を広げ、北千里駅、南千里、千里山駅、関大前駅周辺のお店にプロジェクトメンバーが出向き、「すいた食べきり運動」に協力を求めた結果、20店舗の賛同が得られました。昨年と合わせると、合計で74店舗となります。賛同していただいたお店には、ポスターやステッカーなどが貼ってあったり、卓上シートや幹事用マニュアルを置いていただいたりしています。吹田中の飲食店に広がり、市民の方がいつでもこのキャンペーンのキャラクター「ペロリンコ」に目が留まるよう願っています。



2-2 サッカースタジアム・ブース出展

開催日：6月22日（土）

温暖化PTとともに Panasonic Stadium Suita にて開催されたガンバ大阪 VS 湘南ベルマーレ戦の試合開始前までの間、「すいた食べきり運動啓発キャンペーン」の啓発ブースを出展しました。また、ハーフタイムにはすいたんや SENS の学生さんたちとともに食品ロス削減、地球温暖化防止の標語を書いたパネルをもってピッチ内を周回しました。

2-3 吹田スタジアムフェスタ 2019

開催日：8月31日（土）

温暖化PTとともにブース出展を行いました。食品ロス関連のパネルを見てクイズに回答するとペロリンコの缶バッジを差し上げる企画で、57人の参加がありました。そのうち55人が削減のための具体的行動をとると回答しました。

2-4 すいた環境教育フェスタ

開催日：2月1日（土）

市と連携して、食品ロス関連のパネル展示をしました。吹田スタジアムフェスタ 2019 に引き続き、食品ロス関連のパネルを見てクイズに回答するとペロリンコの缶バッジを差し上げる企画で、80人の参加がありました。そのうち74人が削減のための具体的行動をとると回答しました。

2 実施評価及び課題

この一年でイベント等に出展する中で SDGs の認知度が高まっていることを確かに感じています。アンケートをとる際も「あれもこれも大事で選べない」という声を多く聞きました。しかし、いざ「明日からやってみようと思うことを1つ書いてください」とお願いすると、なかなか手が進まない方が多く見られたように感じます。

こちらがヒントを出せば、「あ、そんなことでいいんですか。」といった様子でスラスラと書けるのですが、最初の一步の踏み出しが想像しづらいのかもしれません。

できることから一つずつ、皆さんに気づいていただき、その中からさらに環境問題への意識を持った方々がまた環境活動に参加していただけるように、今年も知恵を絞りたいと思います。

「地球温暖化防止プロジェクト」では、来年度も引き続き「すいたムーンライトコンサート」を実施する予定ですが、CO2 排出ほぼゼロのイベントとして、新たな担い手にバトンタッチしていただき、プロジェクトとしては、市内複数個所での開催ができるようにしたいと考えています。

「食品ロス削減プロジェクト」では、昨年引き続き、「協力店」を増やすことには成功しましたが、啓発グッズを見た方がその後、食べ残しに対する意識が変わっているのか、後追いが必要です。また、後追いをし、効果を検証した上で今後、市民向けイベントを考えたり、「協力店」の見せ方を考えたりする必要があります。また、イベントでのパネル+クイズ形式による啓発は、食品ロスを自分ごととして考える意味で効果があると実感しました。今後も様々なイベントに参加して行きたいと考えています。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流

事業内容

すいた環境教育フェスタ 交流会

すいた環境教育フェスタの前日、令和2年1月31日（金）、すいた環境教育フェスタの運営委員である市内環境団体と企業、3団体、8名による交流会を「アジェンダ21すいた」主催で実施しました。昨年に引き続き、今年度で4回目の実施です。

今年度は会場が資源循環エネルギーセンターであったため、参加団体が少ないながらも、活発な意見交換を行い、有意義な交流をしました。

この交流会の趣旨は、運営委員会で顔を合わせていても、なかなか交流する機会がなく、すいた環境教育フェスタ当日も、各団体のブースの運営に時間を取られて、他団体が何をしているのか、分かり合えないでいます。そこで、せっかく環境を切り口に集まった団体なので、活動の分野や、すいた環境教育フェスタでの展示あるいは体験イベントの内容を説明してもらって、交流を深めようというものです。

(2) ヒートアイランド／熱中症予防啓発事業

事業内容

すいすいくん祭りへの出展

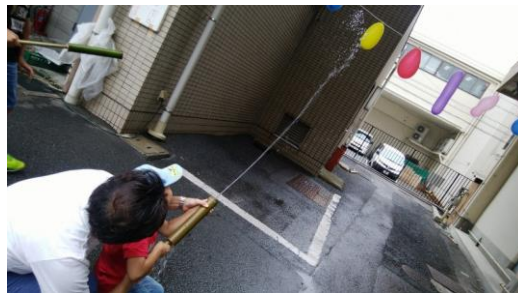
台風6号の接近で開催が危ぶまれる中、吹田市水道部主催で吹田市民に対するPR活動の一環として行う第8回水道フェア夏休み「すいすいくん祭り」が7月27日（土）に予定ど

おり開催されました。開催の10時前から会場を待つ親子連れの行列が出来る程の賑わいでした。

すいた環境学習協会のすいたエコクラフトクラブの協力を得て、遊びのエリアで有償の水鉄砲とバンブーアート作製を行いました。水鉄砲は用意した100セットは午前中に完売済みで、スプラッシュテストではびしょ濡れではしゃぎ回っていました。

午後からはバラ・ひまわり・金魚・チューリップの4種類のバンブーアート作製を行いました。台風のお陰か参加者が少なく残念でした。

児童たちが完成した作品を持ち帰るときの笑顔で「ありがとう」の声に指導者達は満足感を味わっていた様子でした。



(3) エコレターの発行

事業内容

今年度より、「ニュースレター」と「エコプレス」が合併し、「エコレター」として新たに生まれ変わりました。

関西大学良永ゼミの学生の皆さんが「エコプレス」に引き続き、編集を行っています。学生の方の若い視点で市民の目を引く「エコレター」を発行することができました。

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、年4回（令和元年7月、10月、令和2年1月、4月）発行しました。



(4) すいた環境教育フェスタ

事業内容

令和元年2月1日(土)、吹田市資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)において行われたすいた環境教育フェスタでは、エネルギー部会が行った「エコすごろく」と「省エネ相談会」、資源部会が毎年実施している、マイボトル・マイカップ持参者にお茶のサービスをする「給茶コーナー」、フラッグシッププロジェクト地球温暖化防止チームの「SDGsアンケートコーナー」、食品ロス削減チームの「食品ロスクイズコーナー」の4つの体験コーナーで参加者に楽しんでもらいました。

(5) ホームページの管理・運営

事業内容

令和元年6月から令和2年5月にかけて、「アジェンダ21 すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(6) 定時総会運営事業

事業内容

令和元年7月15日(月・祝)に定時総会を開催し、講演会及び懇親会を実施しました。講演会では、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク副運営委員長の中井八千代さんを講師として迎え、～「海洋プラスチック」緊急対策!! 消費者・事業者・国にできることは?～をタイトルとして、最新情報も含め、海洋プラスチック汚染についてのお話をお聞きしました。講演会の参加者は33名でした。その後の懇親会では、辰谷副市長や中井さんも参加していただき、和やかに開かれ、会員相互の親睦を深めました。今回は、プラスチックごみを極力、出さないようにするため、飲み物はペットボトル入りではなく、缶か紙パックのものを選んで皆さんに提供しました。



3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、再生エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進めます。

1-1 暮らしのCO2ダイエットの小学校への展開

環境学習としてCO2ダイエットに取り組んでもらえる学校の発掘に取り組みましたが、前年同様、実施することはできませんでした。財団法人千里リサイクルプラザが主催する「環境教育発表会」に参加した学校であれば、環境への意識が高いのではないかと考え、実施時期や方法について、吹田市教育委員会や千里リサイクルプラザと相談を重ねましたが、学校サイドの承認が得られず、実施方法等について引き続き検討することとしました。

1-2 エコキャンドル作り

家庭から出た廃油を再利用して、キャンドル作りを行うとともに、注いだ油が冷却されるまでの時間を使い、子ども達に環境啓発活動を行いました。

・千里新田青少年対策委員会 令和2年2月15日（土）

参加者 児童32名（低学年が中心）、保護者=6名、青対委員=5名

1-3 再生可能エネルギーの勉強会と吹田市での導入

自宅のベランダにも設置可能な大きさの太陽光発電設備についての講座を開催しました。市報すいたや公共施設へのチラシ配架などで参加者を募ったところ、平常時の利用はもちろん、災害時にも活用可能ということで、多くの方に参加していただくことができました。講演内容も大変好評で、実際に組立を行う応用講座への参加希望を尋ねたところ、12名の希望がありました。

・令和2年2月8日 「じぶん発電所づくり基礎講座」

講師 平田 賀彦 氏（豊中市民エネルギーの会 理事）

会場 ラコルタ

参加者 28名



1-4 「省エネ相談会」

家庭でのエコライフの実践について、相談会を実施した。古くなった電化製品の買い替えなどについてアドバイスを行った。

- ・令和元年6月17日（月）、20日（木）市役所ロビー展示 相談者＝計7組
- ・令和元年8月31日（土）吹田スタジアムフェスタ2019 相談者＝18組
- ・令和2年2月1日（土）吹田市環境教育フェスタ 相談者＝9組

1-5 エコすごろく

環境教育フェスタにおいてエコすごろくを実施したところ、子どもたちを中心に86名の参加がありました。

出題内容について、難問も含まれるため再考が必要です。

2 実施評価及び課題

長年継続してきたCO2ダイエットの新たな展開として、平成30年度より、子どもを通じて家庭の生活習慣を見直してもらおうきっかけとなることをめざし、小学校で取り組んでもらえるよう模索していますが、本年もいい結果を得られませんでした。学校現場は多忙を極め、新たな対応が必要となる提案にはニーズがないとの結論に達し、次年度以降は各校が自主的に開催している土曜スクールなどでの実施を検討します。

2年目を迎えた省エネ相談会ですが、一定の成果を得つつあります。よりの確なアドバイスができるよう相談員の充実に取り組むとともに、実施方法について検討を重ねたいです。

エコキャンドル講座については、各家庭から廃油を持参してもらうことが困難な状況が生じています。人気のある事業であるので継続していきたいですが、環境啓発の意義を高めるため、学習プログラムの改善が必要であり、次年度に取り組みたいです。

市民啓発イベントとし「じぶん発電所づくり」の講座を行いました。市民の関心も高く、今後さらなる展開が期待できます。基礎講座、応用講座とも、講師を招かず自分たちで開催できるようになれば、機動力も増すので、次年度以降に取り組んでいきたいです。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てのライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 ごみの減量・資源化のための啓発

「吹田ごみ減量・再資源化推進会議」のメンバーとして食品ロス削減キャンペーンに参加しました。

日時：令和元年10月16日～10月25日 6店舗

1-2 あなたが見つかるエコなお店 in すいた

3Rの推進や省エネなど環境や人にやさしい取り組みを行っている吹田市内のお店を応援するため、「アジェンダ21 すいた」が発行するエコレター紙面で、エコなお店の紹介をしました。

“らっく de フリマ（レンタルフリマ）” くるくるプラザ 「エコレター」第52号

1-3 市内に給茶ができるスポットを広げる取組

すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトル・マイカップを持参すると値引き対応してくれるカフェ5社とコンビニエンスストア1社の情報を展示し、給茶体験として、マイボトル・マイカップ持参の人に無料でほうじ茶のサービスを行いました。またクイズ回答者にマイボトルやティーバッグが当たる抽選も実施しました。

日時：令和2年2月1日

場所：くるくるプラザ（吹田市資源リサイクルセンター）

来場者：84名

1-4 お絵かきエコバッグ作り

令和2年7月1日からスーパー・コンビニなどすべての小売店を対象に、レジ袋有料化が義務付けられることを受け、マイバッグ持参を呼びかける目的で主に子供向けのイベントを実施しました。

日時：令和元年11月4日

場所：ABCハウジング千里住宅公園

参加者：93名



2 実施評価及び課題

マイボトル・マイカップ持参を呼びかける取り組みを継続して行ってきましたが、最近の「海洋プラスチック汚染」がクローズアップされてきた現状に呼応して、マイボトル持参の増加を感じます。お絵かきエコバッグという子供向けのワークショップに初めて取り組みましたが、大人にも子供にも好評で、マイバッグ持参を呼びかける有効なツールであると感じ

ました。イベントの活動にはスタッフの人数が必要ですが、部会スタッフが従事しにくい困難な中での取り組みでした。

食品ロス削減の取り組みとして「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」のキャンペーンに参加できました。

「あなたがみつけるエコなお店 in すいた」の掲載は、タイムリーな話題を提供できました。

【自然部会】

1 事業内容

吹田市域において生物多様性に配慮し、自然を守り育てる活動を展開し、人と自然が共生できる環境づくりを推進します。

また、講習会等の啓発活動を通じて、広く市民の環境意識を高めることを目指します。

1-1 みどりのカーテン普及・啓発活動

みどりのカーテン講座

日 時：令和2年5月23日（土）

場 所：男女共同参画センター（DUO）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止しました。

エコクッキング講座

「目指せ究極の地産地消！」のタイトルのもと、みどりのカーテンで大きく育ったゴーヤを美味しく食べてもらうためにクッキング講座を開催しました。

ヒートアイランド現象緩和のためのエコな活動を肩ひじ張らず無理なく楽しみながらできる、来年の夏のみどりのカーテンが楽しみになるそんな講座になりました。

日 時：令和元年8月31日（土）

場 所：男女共同参画センター（DUO）

参加者：11名

講 師：寺西律子氏（あおぞらファーム）



1-2 自然観察会

吹田の希少種であるヒメボタルの観察会

日 時：令和2年5月20日（水）

場 所：千里第4緑地、高町池付近

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止しました。

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

特定外来生物（オオキンケイギク）駆除活動を開催しました。かねてよりこの活動を推進しておられる武田先生所属の4団体との合同開催でゴミ袋68袋分集まり、この場所のオオキンケイギクはほぼ駆除できました。

日 時：令和元年6月5日（水）

場 所：高野台府営住宅付近

参加者：25名程度

2 実施評価及び課題

5月に予定していたみどりのカーテン講座及びヒメボタルの観察会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

8月のエコクッキングでは、ゴーヤの調理法や保存法を紹介し更なるみどりのカーテンの普及に加え究極の地産地消の啓発もできました。

吹田の希少在来種であるヒメボタルは、今後も見守っていく必要があると考えています。

今後も、テーマに沿って市民に分かりやすく参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのために他団体との連携も取りながら進めていく必要があると考えています。

部会事業の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

岡本榮一、笹倉俊男、中野政男、馬場慶次郎、福井一彦、吉田誠

資源部会

伊藤智子、大澤浩子、戸坂篤子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉

自然部会

喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、藤田和則